

見守りセンサー導入前の 15 項目チェックリスト

- ・ 機器の方式（カメラ・シルエット・荷重等）を把握し、個人情報として管理する前提で規程を作っている
- ・ 利用目的を「転倒・急変の早期発見と安全確保」等に特定し、規程・重要事項説明書・掲示に明記している
- ・ 職員の評価・指導、研修教材、ご家族への日常提供など目的外利用の可否と手続を決めている
- ・ 同意書に設置場所・範囲、目的、保存期間、閲覧権限、外部提供、撤回の自由と不利益なし、窓口の 7 項目が入っている
- ・ 同意を撤回されたときの運用（停止・撤去・代替見守り）を決めている
- ・ 判断能力が不十分な入居者について、本人への説明と家族・後見人の同意の取り方を決め、記録している
- ・ 入居契約書・重要事項説明書の包括同意と、センサー個別同意の関係を整理している
- ・ 職員がご家族に聞かれたときに答えられる Q&A を配布している
- ・ 閲覧権限者を限定し、アクセスログを残している
- ・ 保存期間を定め、自動削除を設定している
- ・ 事故時に映像・ログを直ちに保全する手順（誰が・何を・どこに）を決めている
- ・ ご家族からの開示請求への対応手順（マスキングを含む）を決めている
- ・ 職員に利用目的と評価に使わない旨を説明し、就業規則・規程に反映している
- ・ 入居者ごとの通知設定を委員会等で定期的に見直し、経緯を記録している
- ・ ベンダー契約でデータの帰属、保存場所と再委託、解約時の削除、障害時の責任分界を確認している